

平成 26 年度 津山市立高野小学校

改善プラン「平成 26 年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（12 月）

	学校の取組・改善方法 <small>（課題に対する改善方法）</small>	進捗状況 <small>（学期末時点）</small>	3 学期及び来年度へ向けて <small>（具体的な達成目標や数値目標等）</small>
	基礎基本の定着を大切にしながら応用力もつける。 書く力をつけるための学習活動を積極的におこなう。……作文指導、自分の考えをノートに書く。 文章を読んで要約する力をつけたり、文の読み取りの力をつけたりするために読書量を増やす。	B	学年ごとに学力向上の重点を決め、検証を行いながら達成目標に向けて取り組む。(90%) 学び合いを研究テーマの柱にして、自分の考えを持ち、それを交流、発表する活動を増やした。 朝学習や計算ぐんぐん週間などを使い算数の基礎・基本の定着(90%)や漢字の定着(90%)に取り組む。 週に 1 度の図書時間の他に、梅雨や秋の読書まつり、移動図書で読書量を増やすことができたので継続していく。
	学力テストと同等又は、以前の問題に全員で取り組む。……県の到達度テストの活用(学年を 1 つ下げてする) 無回答(空白)提出者を減らすため、あきらめず最後まで問題に取り組むように指導する。	B	過去の学力テストに取り組んだり、到達度テストの活用をすることができたので継続していく。(学年を下げた問題にも取り組めた) 発展的な問題や文章題などで空白をできるだけつくらないように日常のテストから引き続き指導する。
	ノートをゆったりと丁寧に書く。……算数については定規を使って丁寧に書き計算を残す。 下敷き、定規を使う。 話を上手に聞く。	B	下敷きや定規を使えるように(90%以上)学年で取り組みを行う。 聞く態度は良くなっているが、内容までつかめるように指導を続ける。
	チャイムと同時に席につき授業をスタートする。 先生が教室にいる。	B	学校全体としてはチャイムを守ることができているが、チャイムと同時に授業をスタートできていない学年もあるため、100%を目指しさらに取り組みを進める。
	テレビ、ゲームの時間を減らす。 家庭学習の手引きを活用し、家庭での学習時間を増やす。	B	家庭生活の調査を PTA や学校で行い啓発を続ける。 家庭学習の調査を定期的に行い、学習時間が増えるようにする。(90%) 学年相応の家庭学習ができるよう宿題の質や量を工夫する。

進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上 100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上 85%未満）」
 「C：目標をある程度達成できた（50%以上 70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上 50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」